



彩の技術士

公益社団法人 日本技術士会 埼玉県支部
The Institution of Professional Engineers, Japan 埼玉県支部

こうほう・Vol.8 2016.10.1

〒333-0844 川口市上青木3-12-18 SKIPシティ A1-706B
埼玉県支部事務局 TEL:048-263-0840, Fax:048-263-0841
<http://www.engineer.or.jp/shibu/saitama/index.html>

目次

巻頭言	国立大学法人埼玉大学学長	山口宏樹
支部長あいさつ	日本技術士会埼玉県支部長	渡辺孫也
委員会活動紹介		
総務企画委員会	委員長	松井 繁
CPD委員会	委員長	増古恒夫
科学技術振興委員会	委員長	黒澤兵夫
地域産業支援委員会	委員長	穴戸富雄
地域委員会	委員長	町田 博
平成28年度年度次大会報告	総務企画副委員長	堀 紀夫
技術士一次/二次試験祝賀会報告	CPD副委員長	白岩信裕
協賛団体の紹介『NPO彩の国技術士センター』	総務企画委員会	

★ 巻頭言 技術士としてのコンピテンシー

国立大学法人 埼玉大学 学長 山口 宏樹

正直なところ、私は技術士に関してほろ苦い経験を持っています。20年近くも前のこと、大学の教員も技術士の資格を持つべきという考えが一部の土木系教員に芽生え、無謀にも試験を受けて見事不合格となりました。「技術者」としての「実務」経験はないものの、本州四国連絡橋等、橋の動的設計の産学官連携プロジェクトに委員会を通じて数多く関わっていたことから、意だけは強くして試験に臨みました。ほとんど準備せずに受験したのが最大の敗因であると言いつてきましたが、35年間に大学人として出会った技術士の方々の「実力」を考えると、また、学長職に就いた今となっては、不合格は当然と思えます。ただ、何においても「勉強」の重要性は変わりません。

日本技術士会埼玉県支部は、行動指針の1つに「技術者倫理の啓発に努め、継続研鑽(CPD)の実施により、技術士の資質向上に努める」ことを掲げています。「実力」も「勉強」を続けてこそということです。CPDは、例えば土木学会では継続教育と訳し、「技術者一人ひとりが自らの意志に基づき、自らの力量(Competencies)の維持向上を図るために行うも

の」としています。因みに、このコンピテンシーとは「特定の職務を遂行する能力」のことを言うと言われます。

今年1月に閣議決定された第5期科学技術基本計画には、「超スマート社会の実現」が謳われています。単なる技術革新でない、社会変革としてのイノベーションが求められ、AI・IoT・ビッグデータ活用で産業構造を転換しようという第4次産業革命が叫ばれる現在、技術士としてのコンピテンシーはどうあるべきでしょうか？ 社会からの負託に応えるべく、職務ごとに多様かつ柔軟に考えていく必要がありそうです。なお、大学にあっても、今日的に育成すべき人材像をめぐって、人間の全体的な能力としてのコンピテンシーが「学力の3要素」として議論されています。

「技術の力で地域の発展に貢献」する日本技術士会埼玉県支部と、「埼玉大学 All in One Campus at 首都圏埼玉—多様性と融合の具現化」を掲げる埼玉大学。さまざまな点で共創できそうです。



〈山口宏樹学長〉

★ 支部長あいさつ 埼玉県支部は中小企業の経営革新を応援します

埼玉県支部長 渡辺 孫也

平成28年度も早くも残り半年となりました。埼玉県支部の本年は5年目の節目に当たります。振り返ってみますと実質スタートの平成24年度は新組織と新規則に慣れることに精一杯でした。公益社団法人として支部の活動はどうあるべきか。財政に関する不安感等がありました。しかし会員の皆様のご努力のお蔭で安定成長することができました。

支部の基盤となった財務を含む総務企画委員会とCPD委員会、新しくなった科学技術振興委員会、地域活動活性化を目指す地域委員会がみんな健闘しております。また活躍を期待する地域産業支援委員会に関連の深い「中小企業の経営革新」を応援する活動について述べたいと思います。

平成27年度、県産業労働部から中小企業の経営革新について協力を要請され、「経営革新計画支援会議」を設けて活動に入りました。昨年は68か所ある商工会議所・商工会へ挨拶がてら訪問して交流を図りましたが、なかなか難しいことでした。これ

らの活動は工夫が必要です。すべて社会貢献活動ではありますが、技術士の活動能力の幅を広げ、真に役に立つ技術士の発展にプラスになり、新人技術士の発掘、技術士の知名度向上につながるものと思います。



〈 渡辺埼玉県支部長 〉

2年目の本年は「経営革新支援プロジェクトチーム」にて活動することにしました。9月5日に、それぞれの地域でリーダーのもとに目標と役割を持って気持ちも新たに活動を開始しました。「日本技術士会埼玉県支部は中小企業の経営革新を応援します」を合言葉に行動を開始しております。

以上の方針で進めますが、役員一同、支部発展のために全力で取り組んで参りますので、皆様の絶大なるご支援とご協力をお願い申し上げます。

★ 総務企画委員会活動報告

総務企画委員長 松井 繁

1. 委員会のコンセプト

埼玉県支部総務企画委員会の活動目的は会員の組織的活動を行いやすくし、その活動を通して社会貢献活動の成果を出すこととしています。

2. 上期の活動実施状況

今年度は、連絡網の整備（支部代表メールの幹部受信者整備、支部会員への一斉メール台帳整備）、広報誌の発行（ホームページの拡充と呼応した支部活動の広報強化）、年次大会の実施（実行グループの設立・運営、外部機関・組織との連携協議、単に集客目的ではなく支部活動の会員への理解と新規会員の勧誘等を図るため、支部長・幹事のご指導の基、企画・実施いたしました）、支部規定（手引き、

要領、ワークフローシートの整備・制定）、支部会計（運用を会計幹事と共に毎月追跡管理し、役員会・委員会に報告、適切な財政管理の活動）を行ってまいりました。

3. 今後の下期活動方針

平成29年度は埼玉県支部設立5周年の年になります。下期活動は、新年会の企画、広報誌の刷新、年次大会の5周年企画等を予定しており、この活動を通して委員会のコンセプトを実現させていく所存です。皆様の温かいご支援・ご協力をお願い申し上げます。また、埼玉県支部へのご意見・お問合せはご遠慮なく、編集後記に記載のE-Mailアドレス宛にご連絡ください。

★ CPD委員会活動報告

CPD委員長 増古 恒夫

本委員会は、上期（4月～9月）各委員会と連携し講演会2回、見学会（講演会含む）2回を企画実施いたしました。下期は現在、下記テーマで実施予

定です。日時・場所・テーマ等計画の詳細（追加もあります）と参加申込の受付は日本技術士会ホームページCPD行事に掲載いたします。

2016年度 今後のCPD講演会・見学会スケジュール

予定開催月日	場 所	テ ー マ
2016年10月28日	浦和コミュニティーセンター	産学官連携「地域農産物の6次産業化」
11月17日	浦和コミュニティーセンター	「技術者倫理セミナー」
12月03日	ウエスタ川越	「中小企業支援の行政システムについて」
12月13日	浦和コミュニティーセンター	「新エネルギーの開発及び普及の現状」
2017年01月24日	さいたま共済会館	技術士業績・研究発表会、新年賀詞交換
1月28日	浦和コミュニティーセンター	「新規開業セミナー」
2月25日	県立川の博物館（寄居）	見学会・講演会「治水」
3月25日	浦和コミュニティーセンター	「技術士制度説明会」

注）今後のCPO講演会・見学会は実施に際して一部変更になることもあります。詳細はHP.にてご確認ください。

★ 科学技術振興委員会活動報告

科学技術委員長 黒澤 兵夫

日本は技術立国と云われながら学生等の理科離れが大きな社会問題となっている。そのため、昨年（平成27年）、科学技術振興委員会が発足し、理科実験/科学技術のイベントをとおして若い人たち（小学生、中学生、高校生、大学生等）の科学技術の大好きな生徒/学生や若手技術者の育成を図る。また、地域の科学技術振興及び活動を通じて地域・社会貢献を計る。

1. 2016年度年活動報告及び計画

(1) 埼玉県支部 JAEA 見学会（2016年6月14日 参加者 会員14名）

埼玉県支部会員を対象にした、地層処分に関する研究などを実施している独立行政法人日本原子力研究開発機構（JAEA）東海開発センターの見学会を実施し、高レベル廃棄物処理と地層処分の認識と課題について有意義であった。

(2) 見学・報告会（2016年7月22日 参加者 会員15名）

見学会（JAEA、東京電力福島原子力発電所）へ

参加した技術士による報告会が行われ、ホットな情報を提供し、活発なQ&Aがあり技術士として必要な知識・情報を習得できた。

(3) 「地層処分セミナーinさいたま」(2016年8月6日 約60名)

主催原子力発電環境整備機構（NUMO）によるセミナーへの参加しスタディをした。

(4) 埼玉県立総合教育センター

①技術士及び日本技術士会のパネルの作成と掲示を行った。（写真）

②公開理科教室の参加 「野菜と染色」「黒インク分析」「割れないシャボン玉」等



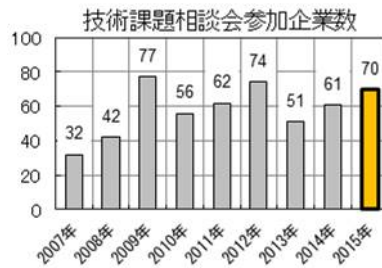
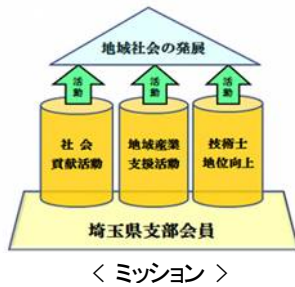
〈写真 県立教育センター〉

★ 地域産業支援委員会活動報告 新たなステージへ前進

地域産業支援委員長 穴戸 富雄

埼玉県支部に変わってから4年が経過しました。活動内容・規模も大学・研究所・官公庁・金融機関様とのお付き合いも非常に増加してきました。この事は埼玉県支部が期待されつつある事と実感しています。昨年度は、社会貢献活動に関し産学官連

携活動が開始され各団体様との繋がりができました。地域産業支援活動に関しては、従来からの“技術課題相談会”を継続しています。今後はこれらの活動を踏まえ“技術士のレベルアップ”、“支援企業様のフォロー態勢の充実”が必要と考えています。



< 技術課題相談会 >



1. 平成28年度の重点活動

- (1) 社会貢献活動：① 産学官連携の拡大（大学、研究機関）。② 防災活動への参画。
- (2) 地域産業支援活動：① 技術課題相談会他、企業支援の強化（企業フォローの充実）。
② 経営革新計画の支援他、相談員（技術士）の質・量向上。
- (3) 技術士地位（認知度）向上：① 各種展示会、講演会、説明会等への積極的参画。

★ 地域委員会活動報告

地域委員長 町田 博

県内の東部、西部、北部に小委員会を置き、各地域技術士会員の交流促進及び地域活動支援を目的に、講演会、勉強会、見学会、及び交流会等を企画、実施しています。

1. 各小委員会のH28年度の主な活動内容

(1) 東部地域小委員会（テーマ：治水・利水、水ビジネスに関する技術展開）

① 越谷市在住技術士交流会（H28年6月11日（土）、地域の中核都市となった越谷市で地元企業支援機関との連携を念頭に、越谷市在住技術士を加え、交流会を合同開催しました。

② 講演会（予定：H28年11月）、地元企業支援機関及び女性技術士との合同講演会を企画中です。

(2) 西部地域小委員会（テーマ：経営革新計画に対する技術支援）

① 講演会（予定：H28年12月3日（土）、会場：ウエスタ川越）、「経済産業省 中小企業支援政策について（仮題）」をテーマに、中小企業の支援

の推進に繋がる講演会を企画しています。

② 講演会（予定：H29年2月25日（土）、北部地域合同で開催）、詳細は次項②参照。

(3) 北部地域小委員会（テーマ：災害対策での安全・安心を担保する技術検討）

① CPD見学会及び講演会（H28年6月18日（土）、会場：埼玉県防災学習センター）

・埼玉県の防災対策に関する講演、

・体験学習（右図）

② 講演会（予定：H29年2月25日（土）、会場：埼玉県立川の博物館、西部地域合同）、「川の博物館見学及び講演（総合治水）」をテーマに水害対策の現状と課題の情報交換を企画中です。

③ 北部地域技術交流会（予定：H28年11月）、地域産業支援委員と共同で出展予定です。

③ 北部地域技術交流会（予定：H28年11月）、地域産業支援委員と共同で出展予定です。



★ 平成 28 年度年次大会報告

総務企画副委員長 堀 紀夫

平成 28 年度埼玉県支部年次大会が 7 月 2 日（土）、さいたま新都心ビジネス交流プラザにて 71 名（昨年度 56 名）の参加のもと盛大に開催されました。

大会は 3 部構成で行われ、司会の村山幹事の開会宣言の後、渡辺支部長の挨拶があり、支部が発足して 5 年が経過したこと、発足までの経緯、支部の組織、支部方針として①支部員の増強推進、②諸団体との連携重視、③重点活動として新規事業展開や経営革新計画支援などが述べられました。



＜ 渡辺支部長挨拶時の会場風景 ＞

第 1 部年次大会では、各委員会委員長より委員会の職掌や構成などの紹介に続き、前年度の活動と今年度の計画につき報告と説明が行われました。

最後に当支部の会計報告と予算について、菅原会計担当幹事より説明されました。

第 2 部特別記念 CPD 講演会では、「次世代産業の創造に向けた SAITEC の役割」との演題で、埼玉県産業技術総合センター（SAITEC）センター長 中村雅範氏に講演して頂きました。埼玉県が推進している「先端産業創造プロジェクト」の一翼を担い、県内中小企業の技術力を強化し地域産業の発展を図るため、SAITEC では基本支援



＜ 中村センター長 ＞

として①技術支援、②研究開発支援、③事業化支援、④技術普及の取組、また重点支援施策として①先端産業・次世代産業の振興、②中小企業の IoT 化推進の支援、③新設機による支援拡大、④公開特許活用の取組について、その内容や実例等の詳細を説明されました。このご説明で、SAITEC の役割や取組の内容が詳しく理解できました。また最後に日本技術士会と連携して取り組んでいることや今後取り組みたいこと等が話されました。冒頭支部長の挨拶にありましたように、支部方針として諸団体との連携重視や重点活動として新規事業展開を掲げている当支部として、今後さらに SAITEC さんと密接に連携して活動していくべきと思われます。

第 3 部では「チャレンジする技術士・技術士補」とのテーマでパネルディスカッションが行われました。町田地域委員長をコーディネーターとし、4 つのチャレンジ分野の 1 つを 4 人のパネリストがそれぞれ担当し、まず各パネリストが担当分野についてプレゼンテーションを行ないました。

TPP（農業）分野に関して、小柳直昭技術士が農業者の経営意識を高めるなど農業問題解決に向け、マネジメント手法の導入や異業種との交流など技術士として貢献したいことなど話されました。

IoT/loE 応用技術分野に関して、黒澤兵夫技術士が IoT/loE の動向、欧米と日本の技術格差、事例と技術士の役割について説明されました。

新エネルギー分野に関しては巽孝夫技術士が埼玉県の施策、新エネルギー導入事例などにつき述べられました。

男女共同参画推進分野に関しては、佐野愛美技術士補が「技術サロンと若手女性技術者の将来への希望」と題して説明されました。



＜ 町田コーディネータと 4 人のパネリスト ＞

続いて分野ごとの意見交換が行われ、農業政策に選択と集中の必要性、IoT/loE による第 4 次産業革命、海底資源の利用の可能性、技術サロンへの参加や会場の先輩女性技術士の経験談など、またチャレンジすることに関する意見交換では、チャレンジを阻む要因は何かなど、会場の参加者を含め活発な意見交換が行われました。

年次大会終了後、懇親・交流会が行われ、ご来賓の埼玉県産業技術総合センター 総務企画室長 正能修一氏と埼玉県中小企業診断協会会長 高澤彰氏からご挨拶を頂いた後、賑やかかつ和やかに参加者相互の交流と親睦を深めました。



＜ 懇親・交流会での集合写真 ＞

★ 技術士一次／二次試験祝賀会報告

CPD副委員長 白岩 信裕

平成28年5月28日に平成27年度技術士試験合格者祝賀会が、さいたま新都心交流プラザにて、合格者20名の参加のもと、総員47名にて開催されました。

祝賀会では、先ず、渡辺孫也支部長より合格者に対し祝辞が述べられ、支部生い立ちと五つの委員会で構成される現組織の説明がなされ、支部活動への積極的参加が要請されました。続いて、委員会毎に各管掌委員長から活動状況が説明されました。

その後、祝賀会記念特別講演として、埼玉県産業



〈織田秀明氏 記念特別講演〉

振興公社理事長 織田秀明氏による『「日本のものづくり」～今何が求められているか～』がなされました。

講演では、世界史的

観点で解析した今世紀の人間活動の動態を踏まえ、日本の産業、ひいて

は埼玉県の産業の世界における立ち位置が解説され、日本（産業）が世界の中で生き残るためには、ものづくり環境のステップアップが必要であり、グローバル環境に適応した企業戦略の構築及び人材の育成が重要と力説されました。産業振興に係る者にとって大変有意義な話に聴く者一同、深く感銘を受けました。

講演終了後、会場を移し合格者を囲み懇親交流会が催されました。合格者からは、県支部活動が理解でき多くの方と知り合え、参加してよかったとの意見が寄せられています。



〈懇親交流会 合格者の自己紹介〉

★ 協賛団体の紹介 『NPO法人 彩の国 技術士センター』

NPO法人 彩の国 技術士センターは、平成23年11月に、当時の埼玉県技術士会に所属する技術士が主体となって設立されました。設立目的は、地方自治体・裁判所・小中学校等に対し、技術的な見地から各種の監査・鑑定、並びに学校教育支援等を行い、地元地域社会への発展に寄与することです。

現在、登録技術者は18人で、技術部門も建設部門、上下水道部門、化学部門、衛生工学部門、応用理学部門、電気電子部門、金属部門、総合技術監理部門と多岐に渡り、また、一級建築士も何人も在籍しています。

業務実績は、工事監査事業、教育支援事業、技術支援事業を行い、設立以来、毎年徐々に件数を増やしている状況で、工事監査では県内各市から延べ16件の業務を受諾し、技術支援では民間工事会社から護岸工事の補修技術提案、その他事業としては、新聞社主催のセミナーへの講師派遣、また、警察署捜査協力依頼により技術鑑定意見書提出等を行っています。

詳しくは、NPO法人 彩の国 技術士センターのホームページをご覧ください

(<http://sainokuni-eng.jp/>)。

(紹介文：総務企画委員会)

編集後記

本号の巻頭言は、埼玉大学学長にお願いいたしました。また、特集はSAITECセンター長をお招きした年次大会の報告記事及び埼玉県産業振興公社理事長をお招きした技術士試験合格者祝賀会の報告記事としました。活動報告では各委員長からの今後の意気込みを伝えていただきました。増頁と掲載内容について皆様のご意見をお聞かせください。 [総務企画委員会]

おくづけ	公益社団法人日本技術士会埼玉県支部 こうほう・彩の技術士 第8号
発行年月日	平成28年10月1日発行
発行所	埼玉県支部
E-mail	saitama@engineer.or.jp
編集	総務企画委員会